

橋本進吉

はしもと
しんきち

國語學者、文學博士。明治十五年十一月二十四日福

井縣生れ、昭和二十年一月二十日歿（八二—一九五）。東京帝國大學文

科大學言語學科卒。昭和四年同大教授。國語學會初代會長。上代特殊

假名遣ひの發見、中世音韻組織の解明など國語史研究の業績多大。

著書『校本萬葉集』全十卷（共編、昭和六年六月五日—七年五月二十

日岩波書店）、『練習題及補充問題』（昭和十年一月—二十日富山

房）、『古代國語の音韻』就いて（昭和十六年二月二十日神祇院）、

『橋本進吉博士著作集』全十一冊（昭和二十一年七月—二十日—五十八

年三月二十一日岩波書店）、『古代國語の音韻』就いて他一篇（昭

和五十五年六月十六日岩波書店「岩波文庫」）等。『橋本進吉博士と

徳』（昭和四十六年三月十一日福井・橋本進吉博士顕彰碑建てる事務

局編刊）がある。